

越前市議会提言シートに対する回答について

ア 農業振興について

令和7年度 越前市議会提言シートに対する回答（農業振興費）

<p>事業名</p>	<p>農業振興費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者支援事業 ・農業担い手対策事業 ・食育・地産地消推進事業 ・環境調和型農業推進事業 ・有機農業産地づくり推進事業 ・中山間地域直接支払交付金事業 ・農村活性化推進事業 <p style="text-align: right;">（環境農林部 農政課）</p>
<p>提言内容</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 本市が取り組んできた「食と農のつながり」、「コウノトリが舞う里づくり」を再認識し、市民の「農と食といのち」を守るために、農の大切さを市民に伝えること。 2 多くの農家は、慣行農法である。それらの農家の支援に力を入れること。 3 2024年、2025年は米価が上がったが、国はコメの増産に舵を切り、今後は従前のように価格が低下する恐れがある。農業従事者の不安は尽きない。再生産ができるための所得補償など安心して生産できる体制を国に要望すること。 4 新規就農者支援事業は、ニーズに基づき制度の拡充を求められたい。本市が、新規就農を推進していることを、広く情報発信し、市内の農業者と就農受け入れの体制づくりを協議検討すること。 5 県やJAと連絡を密にし、「離農、後継者不足対策」や、国が示す「みどりの食料システム戦略」の推進に努めること。 6 有機農業産地づくり推進事業や食のブランド支援事業は、農業従事者に広く周知して取り組むこと。特裁の認証制度をもとに調査し、事業対策可能者に事業内容をお知らせすること。 7 有機農業は、栽培が厳しく、販売方法も確立していない状況にある。この中で推進にあたっては、まずは、すでに実践している農業者の組織づくりに努め、その組織やJAと、推進戦略についてじっくり協議検討をすること。 8 有機農業の拡大にあたっては、栽培マニュアルの作成のみに頼らず、推進してきた有機農家に真摯に向き合い、課題を洗い出し、課題ごとに解決に取り組むこと。 9 有機農業の人材育成のための拠点として、本市に「福井オーガニックグリーンアカデミー」の誘致に努められたい。

	<p style="text-align: center;">※事業実施に関する意見 ①廃止 ②縮小 ③拡大 ④新規事業の実施 ⑤事業実施手法の見直し ⑥その他</p>
<p>検討結果</p>	<p>1 これまで、越前市産米の学校給食への提供や、地域での食の体験、地元産食材を使った料理教室等農の大切さを伝える取組みを行ってきました。 今後も昨年度改定した越前市食と農の創造ビジョンに沿って、幅広く市内横断で効果的な取組みを実施できるよう連携して取り組んでまいります。 ⑤事業実施手法の見直し</p> <p>(R 6実績)</p> <p>小中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ・越前市産特別栽培米コシヒカリを1年間全小中学校の給食で提供 ・コウノトリ呼び戻す農法米を全小中学校で提供 (学校給食校は5日間、スクールランチ校は2日間実施) <p>公立保育園、認定こども園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・越前市産農産物使用量 26.0% 米は越前市産を使用 <p>地区公民館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民を対象に、地元で栽培された食材を活用した食の体験 ・料理教室(伝承料理、おやつ作り、そば打ち体験等) 全17館 154回実施、延べ1,908人参加 <p>食生活改善推進員</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地区料理講習会 生活習慣病予防、伝承料理講習会等(14回、123名) <p>2 農業従事者が安定的かつ持続可能な農業経営となるよう、県やJAと連携しながら、支援してまいります。 ⑤事業実施手法の見直し</p> <p>3 農業従事者が、米価の変動等の影響を受けることなく生産できるよう県やJAと連携しながら、安心して生産できる体制を国に要望します。 ⑤事業実施手法の見直し</p> <p>4 県が設置しているワンストップ窓口など、新規就農者の受入体制に積極的に参画するとともに、県やJAなどの関係機関と連携し、本市での就農希望者への支援制度について広く発信してまいります。 ③拡大</p> <p>5 越前市総合計画中の「有機農業拡大プロジェクト」や、「みどりの食料システム戦略」に基づき取り組むとともに、令和8年度以降についても引き続き、県やJAと連携しながら、さらなる有機農業推進を図ってまいります。</p>

	<p>(R 8 予定)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ふくいオーガニックグリーンアカデミー」で栽培マニュアルの活用や地方創生センター事業と連携 ・有機栽培マニュアルの横展開、追肥適期判定アプリの活用、学校給食への有機農産物等の提供 <p style="text-align: right;">⑤事業実施手法の見直し</p> <p>6 有機農業産地づくり推進事業や食のブランド支援事業について、特別栽培農産物を生産する農業従事者などにも県やJA等関係機関とともに情報を提供し、事業を推進してまいります。</p> <p style="text-align: right;">⑤事業実施手法の見直し</p> <p>7 今後とも、有機農業産地づくり推進協議会構成員であるJA、農林総合事務所とともに、有機農業の普及促進に係る戦略について協議するとともに、有機農業実践者の組織についても検討してまいります。</p> <p style="text-align: right;">⑤事業実施手法の見直し</p> <p>8 有機農業の拡大にあたっては、有機農業新規取組者に限定せず、これまで有機農業を推進してきた有機農家の知見も含め、課題解決に取り組んでまいります。</p> <p style="text-align: right;">⑤事業実施手法の見直し</p> <p>9 引き続き、本市の有機農業拡大、また推進のため、本市に「ふくいオーガニックグリーンアカデミー」を設置いただくよう県に対し強く要請いたします。</p> <p style="text-align: right;">⑤事業実施手法の見直し</p>
<p>予算概要</p>	<p>令和8年度当初予算案</p> <p>① 食育・地産地消推進事業</p> <p style="padding-left: 20px;">越前発いのちを育む米飯給食推進事業負担金 550千円</p> <p>② 水田活用推進事業</p> <p style="padding-left: 20px;">水田活用推進事業補助金 7,400千円</p> <p>③ 農業生産総合対策条件整備事業</p> <p style="padding-left: 20px;">農業生産総合対策条件整備事業補助金（一部） 4,600千円</p> <p>④ 園芸振興対策事業</p> <p style="padding-left: 20px;">園芸振興対策事業補助金 9,735千円</p> <p>⑤ 中山間地域直接支払事業</p> <p style="padding-left: 20px;">中山間地域直接支払交付金 35,681千円</p>